

# 漁況予報 い わ し

## 第179号

【2013年9～10月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

### = 概況 =

#### 【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は7月は80トンで、不漁の前年(371 kg)を大きく上回りましたが、平年<sup>※1</sup>(94トン)を若干下回りました。8月は17トン(速報値)で、前年(17トン)同等でしたが、平年<sup>※1</sup>(184トン)を大きく下回りました。

魚体は、7月には被鱗体長<sup>※2</sup>(以下同)12～14cmの小中羽イワシが主体で2013年生まれの0歳魚と推定されます。8月に入ると昨年同様、未成魚の漁獲は伸びませんでした。

佐島地区のまき網は、1ヶ統が7月に1日だけ80トンの大羽マイワシの水揚げがありましたが、それ以外は低調に推移しました。

房総以北の海域では、大羽マイワシの水揚げが断続的に続いているようですが、本県海面周辺への来遊は少ないようです。

今後も引き続き少ないながら0歳魚(小羽サイズ)が漁獲主体となると考えられます。

#### 【カタクチイワシ】

主要定置網における7月のカタクチイワシ総漁獲量は100トンで、前年(85トン)を上回りましたが平年(245トン)は下回りました。つづく8月の漁獲量(速報値)は0トンと、不漁の前年(795 kg)及び平年(39トン)を大きく下回りました。

魚体は、7月は7～10cmの未成魚が主体でした。

鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとしての漁獲が継続しましたが、佐島地区のまき網1ヶ統は8月下旬にカツオ船に生きイワシとして売った残りを10トン強水揚げしました。

#### 【シラス】

全般的に不漁で終漁した相模湾の春シラス漁でしたが、7月に入りまず平塚を中心とした西地区で好転し、月計では突出して豊漁となった前年同期の9割弱の豊漁となりました。一方、東～中央部は前年同期を大きく下回り平年の6割強に留まりました。結局、湾全体での漁獲量(標本船データより推定)は豊漁だった前年を大きく、平年を若干下回りました(前年比0.6倍、平年比0.9倍)。

つづく8月は浅場での漁場形成がなかったため、上旬を中心に沖曳き操業を行う船もありましたが、下旬になって浅場でもやや好漁となりました(前年比1.2倍、平年比0.7倍)。

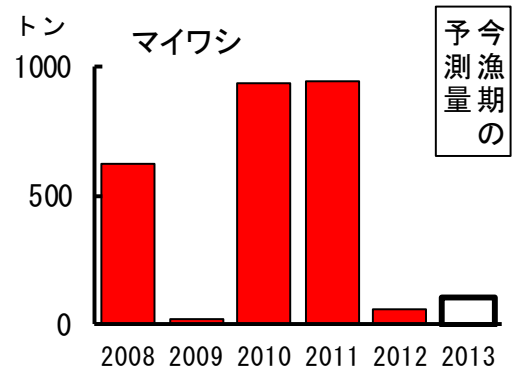
# = 予 報 =

過去5年の9・10月漁期の漁獲量と今漁期の予測量

## 【マイワシ】

今漁期は、2013年生まれのヒラゴ～小羽マイワシ（10～14cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、春季のマシラスの漁獲状況から、前年を上回る約100トンと予測されます。

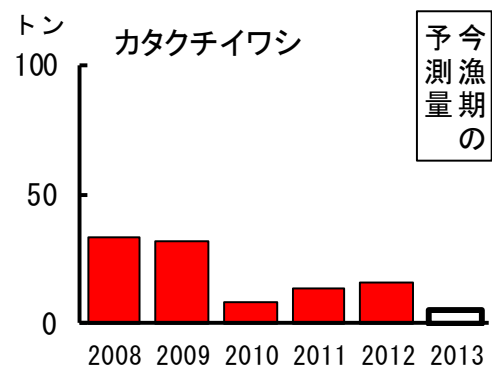


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【カタクチイワシ】

今漁期は、2012年生まれの小型成魚（9～12cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、ここ数年の漁模様から殆ど漁獲はできないと予測されます。

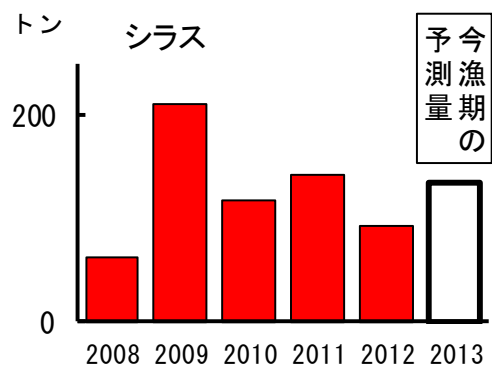


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

## 【シラス】

今漁期は、7～8月に発生したカタクチシラスが漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、7～8月の相模湾周辺のカタクチイワシ卵分布状況から、前年をやや上回る134トンと予測されます。



神奈川県水産技術センター企画資源部  
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2312